

進路だより

兵庫県立北はりま特別支援学校

進路指導部

令和7年7月

～高等部1年の実習の様子～

6月16日から20日までの5日間、働く力をつけるために校内実習を行いました。

高等部での初めての实習ということで、事前に実習日誌を使って時間割の確認や作業の体験、2年生の実習の様子を見学しました。初日はいつもと違う時間割と作業場所で移動に時間がかかりましたが、少しずつ自分で時計や作業場所を確認して、自分の作業場所へ移動できる生徒が増えました。4日目からは時間に余裕をもって集合できるようになりました。

実習はオーナ針、カツイチ、Y&Fの作業に取り組みました。様々な作業を経験することで自分の得意な作業と苦手な作業が分かりました。今後の進路選択の役に立つと思います。

実習の中頃からは、休憩中に「このチーム、いい感じで仕事ができとるな」とお互いを励ましたり、「仕事って慣れてくると楽しいな」と仕事の大変さとやりがいを感じたりする生徒が出てきました。また、実習後には「立って作業をすると足が痛いのはなんでかな」と疑問を持った生徒が「体力がないからかもしれない。じゃあ、これから体力づくりをもっと頑張らないと！」と課題を自分で見つけて、前向きに取り組みたいという気持ちが感じられました。

【実習の様子】



・実習後の振り返りでは、「上手にできるようになって嬉しい」「この仕事は自分に合っているかも」と達成感を味わったり、自分の得意と苦手な作業が分かったりした生徒が多くいました。また、新たに見つけた課題はこれからの学校生活で前向きに取り組んでいってほしいです。